

「第二次渋谷区子ども読書活動推進計画」令和6年度 - 令和10年度（概要）

1 計画の位置付け

- 「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年）に基づき策定
- 渋谷区の子ども読書活動推進に関する施策の方向性や取組を示すもの
- 渋谷区の制定・改訂経緯
平成31年に「渋谷区子供読書活動推進計画」を策定
(期間：平成31年度～令和5年度)

2 これまでの成果と課題

- 第一次計画では、4点の目標を掲げ、取組を推進
(1) 子供の発達段階に応じた読書機会の提供と環境の整備

- 不読率（一か月に1冊も本を読んでいない割合）

指 標	平成28年度 渋谷区調査	令和5年度 渋谷区調査	令和4年度 東京都調査
乳幼児	—	4.0%	—
小学生	8.1%	5.5%	4.4%
中学生	31.4%	17.7%	10.0%

- ▶ 平成28年度と比較し令和5年度は本を読んでいない割合が改善されていますが、東京都と比較すると更なる改善が必要です。

- 図書館の利用登録数・図書貸出

指 標		平成30年度	令和4年度
登録者数	一般 (人)	77,129	57,602
	児童 (人)	7,852	6,556
貸出冊数	一般書 (冊)	1,232,925	1,073,598
	児童書 (冊)	581,562	650,279
電子図書	ログイン (件)	4,713	6,628
	貸出冊数 (冊)	1,681	3,638

- ▶ 図書館の利用登録は、新型コロナウイルス感染拡大により減少していますが、児童書と電子図書の貸出冊数は増加しています。

(2) 幼稚園、保育園、小・中学校、図書館各機関における読書環境の整備及び読書活動の充実並びに施設相互間の連携

- 図書館の蔵書の整備

指 標		平成30年度	令和4年度
区立図書館の蔵書数	一般書	717,076冊	669,326冊
	児童書	187,503冊	167,504冊
	外国語図書	11,051冊	11,712冊
区立図書館の電子図書コンテンツ数	一般	5,654冊	8,284冊
	児童書	118冊	786冊

- ▶ 図書館の蔵書数は減少しましたが、令和3年度から本格的に電子図書を導入し、電子図書のコンテンツ数を増加しました。また外国語図書を増加しています。

- 乳幼児向けのおはなし会

指 標	平成30年度	令和4年度
図書館おはなし会	467回	432回
出張おはなし会	74回	34回

- ▶ 新型コロナウイルス感染防止により開催回数が減少しました。令和5年度「乳幼児を持つ保護者の読書に関する意識調査」によると図書館に会話をしながら過ごせる場があると良いとの意見があり、おはなし会開催だけではなく児童コーナーの工夫が必要です。

- 区立小・中学校全校に学校図書館専門員を配置・学校図書館システムを設置

指 標	平成30年度	令和4年度	
学校図書館専門員配置	小学校 18校	小学校 18校	
	中学校 1校	※中学校 4校	※令和5年度8校
学校図書館システム設置	小学校 3校	小学校 18校	
	中学校 1校	※中学校 4校	※令和5年度8校

- ▶ 渋谷区では国の令和元年度 GIGA スクール構想に先駆けて、平成29年度から区立小・中学生一人ひとりにタブレットを配付し ICT 教育の推進を図ってきています。学校図書館システムの活用や充実も更に進めていく必要があります。

2 これまでの成果と課題

(3) 子供の読書活動の重要性について広く普及・啓発を行う

■ 健診会場で乳幼児向けブックリストを配布

指 標	平成 30 年度	令和 4 年度
保健所健診会場でのチラシ配布	1,819 枚	2,000 枚

- ▶ 健診会場で本の紹介をしていましたが新型コロナウイルス感染防止のため、チラシの配布のみとなりました。絵本や読み聞かせの紹介などを再開する必要があります。

■ 図書館展示やイベント開催

指 標	平成 30 年度	令和 4 年度
区立図書館の展示開催数	112 回	100 回
区立図書館のイベント開催数	99 回	56 回

- ▶ 展示の開催・イベント数が減少しましたが、興味や関心をもつよう工夫し継続して行っていく必要があります。

■ 図書館見学や体験（学校連携）

指 標	平成 30 年度	令和 4 年度
一日図書館員（小・中学校）	19 回	17 回
	48 人	40 人
区立図書館見学（小学校）	15 回	16 回
	700 人	815 人
職場体験（中学校・高等学校）	17 回	19 回
	42 人	63 人

- ▶ 図書館や読書に関心をもてるよう体験プログラムを実施してきました。

■ 図書館りんごの棚（絵で読める本や大活字本、点字図書、英語の絵本など）

	平成 30 年度	令和 4 年度
区立図書館のりんごの棚設置数	0 館	9 館

- ▶ バリアフリー図書をりんごのマークを付けた棚で展示し紹介しています。

■ 図書館ホームページ

指 標	平成 30 年度	令和 4 年度
ホームページアクセス数（月）	138,000 回	255,496 回

- ▶ 令和 4 年度に渋谷区 LINE 公式アカウントと連携、非来館での図書館利用登録やスマートフォン仕様で利便性向上を図っていますが、更なる周知や活用されるようにしていく必要があります。

(4) 子供読書推進のための人材育成

■ ボランティア育成

	平成 30 年度	令和 4 年度
学校図書館ボランティア活動団体	6 団体	6 団体
区立図書館ボランティア	42 人	46 人
音訳協力員	32 人	11 人
点訳協力員	20 人	14 人

- ▶ 学校図書室ボランティア支援や図書館ボランティア（子ども読書サポーター）、障がい者サービスを行う協力員の育成を続けていく必要があります。

3 第二次計画の基本的な考え方

■ 基本方針

渋谷区の第一次計画での考え方を基本としつつ、国の第五次計画や、東京都の第四次計画、令和 5 年度渋谷区の読書活動に関する調査結果、昨今の読書に関わる動向を踏まえ、次の 4 点を本計画の目指すものとする。

■ 計画期間

令和 6 年度～令和 10 年度までのおおむね 5 年間

■ 計画の目標

- 1 子どもの発達段階に応じた読書機会の充実
- 2 子どもの読書活動を支える環境整備
- 3 子ども読書活動の重要性を広く普及・啓発
- 4 子ども読書活動推進のための協力体制

4 具体的な取組

1 子どもの発達段階に応じた読書機会の充実

読書の質を高めていくために、子どもの読書の量を増やすことのみならず、乳幼児期からその時々の子どもの発達段階に応じて働きかけを継続して行っていきます。

- ▶ 幼稚園・保育園に図書館キャラバンで本を届ける事業を実施していきます。
- ▶ 教育タブレットに電子図書を導入していきます。
- ▶ バリアフリー図書を充実しりんごの棚を学校図書館に設置するなど活用を図ります。
- ▶ 外国語図書の紹介や多言語おはなし会、LGBTQ 関連への理解につながる本の紹介やおはなし会開催、手話の紹介や手話を用いたおはなし会を開催していきます。

■ 不読率と読書冊数

指 標	対 象	令和 5 年度	令和 10 年度
不読率（一か月に 1冊も読まない）	幼 児（％）	4.0	2.0
	小学生（％）	5.5	2.0
	中学生（％）	17.7	8.0
読書冊数（一か月 に4冊以上読む）	幼 児（％）	78.1	85.0
	小学生（％）	63.2	80.0
	中学生（％）	25.0	50.0

(R4 国の目標値 不読率：小学生 2%以下・中学生 8%以下)

2 子どもの読書活動を支える環境整備

子どもの読書活動の推進を効果的に行うためには、各機関で読書環境の整備を行うことのほか、各機関の有効的な連携をしていきます。

- ▶ 図書館は、児童書や外国語図書、電子図書の充実を図っていきます。
- ▶ 図書館児童書コーナーは会話ができる場所に運用を図り整備していきます。
- ▶ 学校図書館専門員の配置日数増や学校図書館システムを充実していきます。
- ▶ 幼稚園・保育園、小・中学校、子育て施設、青少年施設等で読書環境の整備をするとともに図書館が連携して本の充実をしていきます。
- ▶ 図書館が中・高校生のサードプレイスになるよう閲覧への工夫をしていきます。
- ▶ 図書館 DX の推進を図り、本の検索支援や貸出業務の効率化を図っていきます。
- ▶ 渋谷区「新しい学校づくり」整備方針にもとづき新設する広尾中学校敷地内に公共図書館を設置し、更なるサービス向上となる図書館運営をしていきます。

■ 区立図書館・学校図書館の整備

指 標		令和 4 年度	令和 10 年度
区立図書館の蔵書数	一般書（冊）	669,326	800,000
	児童書（冊）	167,504	200,000
	外国語図書（冊）	11,712	30,000
	りんごの棚（冊）	3,666	7,000
区立図書館の電子図書 コンテンツ数	一般（冊）	8,284	10,000
	児童書（冊）	786	1,000
	外国語図書（冊）	80	300
区立図書館の親子読書 広場設置	設置数（館）	1	9
学校図書館専門員 配置日数	小学校（校）	週 2/4 日	週 5 日
	中学校（校）	週 2/4 日	週 5 日

3 子ども読書活動の重要性を広く普及・啓発

読書に親しめるよう図書館の利用促進を図るとともに、子どもの読書活動に関する理解と関心が深まるようにしていきます。

- ▶ 健診会場に絵本を配置し、読み聞かせの仕方などを伝えていきます。
- ▶ りんごの棚体験会を行い、バリアフリー図書の理解と活用を推進していきます。
- ▶ 図書館ホームページにティーンズ対象ページを加え広く周知するとともに、検索に AI を導入するなどして活用の利便性向上を図っていきます。
- ▶ 子どもから直接相談ができる図書館司書がいることの周知を図り、本の検索や自由研究の相談事例を紹介し、子どもの図書館活用を推進していきます。

4 子ども読書活動推進のための協力体制

渋谷区全体で読書の推進をするため、関わる人や機関の協力体制をつくります。

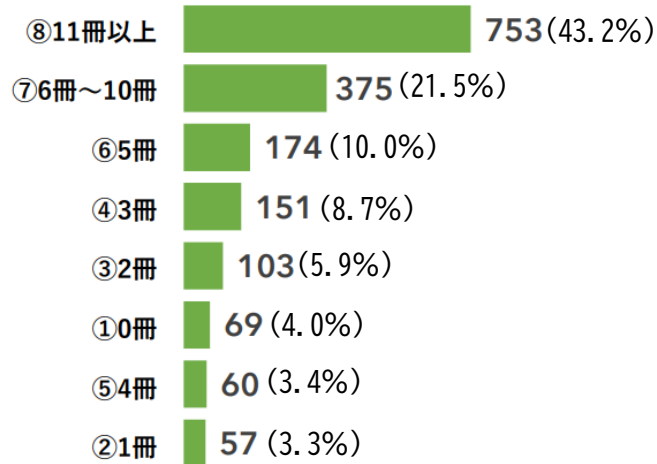
- ▶ 教員、保育士等と図書館司書が連携し日常的に教材等の資料相談にあたります。
- ▶ 区内幼稚園、保育園、小学校、中学校の教員や指導主事、図書館職員等で構成する読書教育推進委員会を軸にして子どもの視点に沿った施策を進めていきます。
- ▶ 図書館ボランティアや障がい者サービスを行う協力員の育成研修会を行い、出張おはなし会開催や読書に親しめる機会を充実していきます。

令和5年度 乳幼児をもつ保護者の読書に関する意識調査（概要）

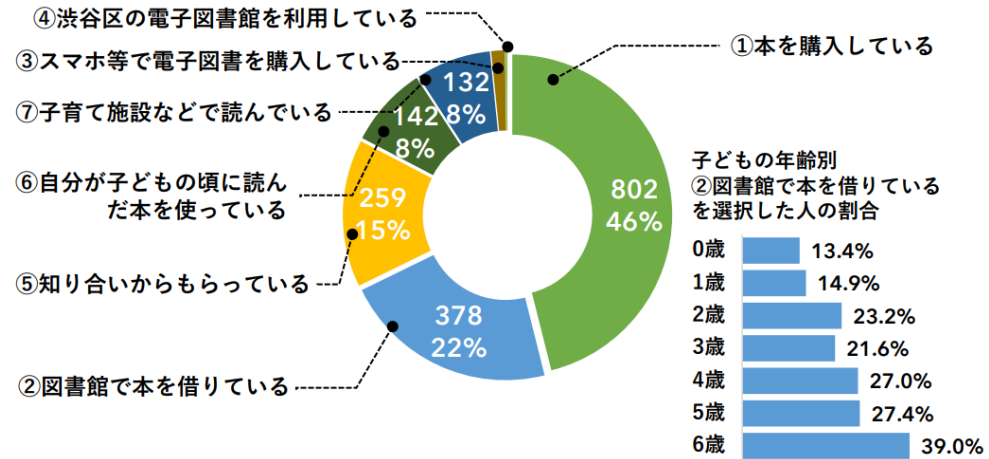
実施時期：令和5年6月26日～7月2日 調査方法：渋谷区LINE公式アカウント 対象：6歳以下の子どもを持つ保護者

回答数：1,875人

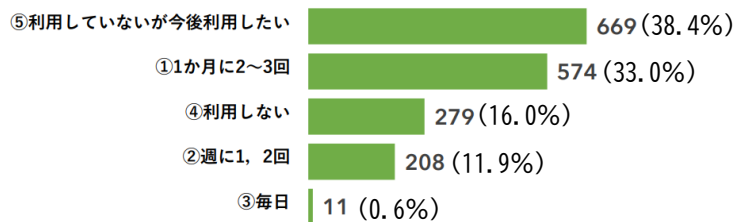
(1) 1か月の読書数（読み聞かせを含む）



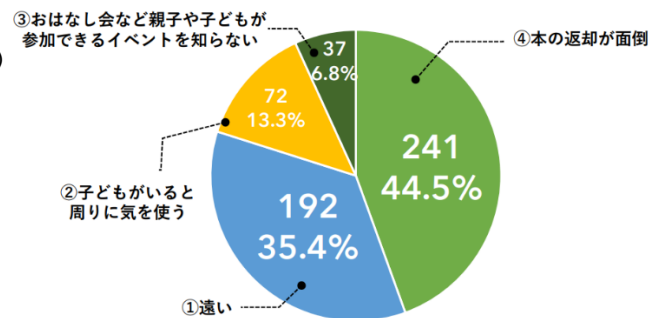
(2) 本の手配について（複数回答可）



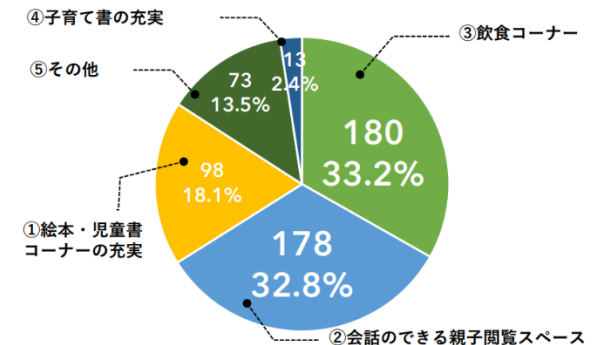
(3) 図書館の利用について



(4) 図書館を利用しない理由（複数回答可）



(5) 図書館に求めること（複数回答可）

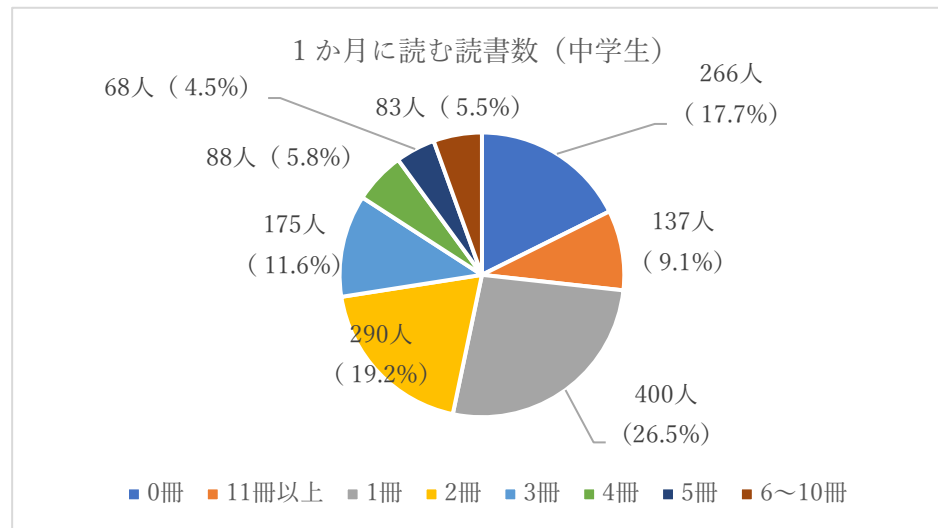
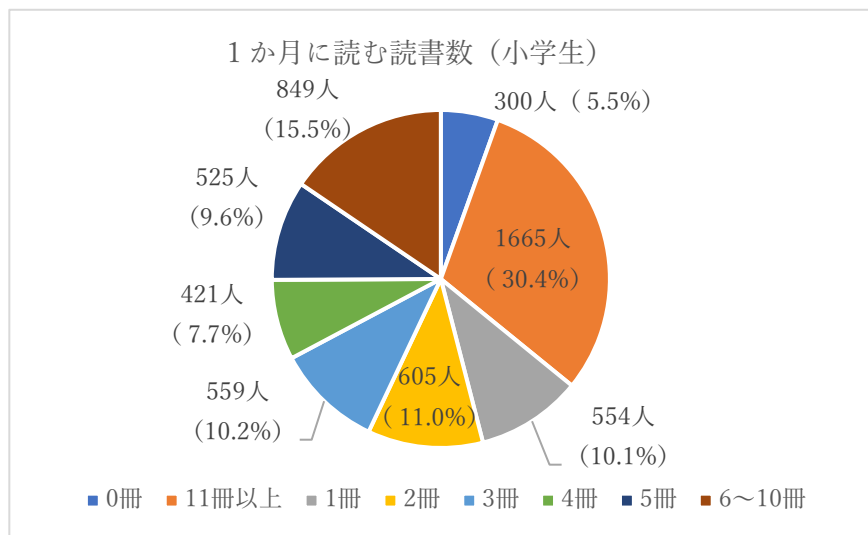


令和5年度 児童・生徒の読書の状況に関する調査（概要）

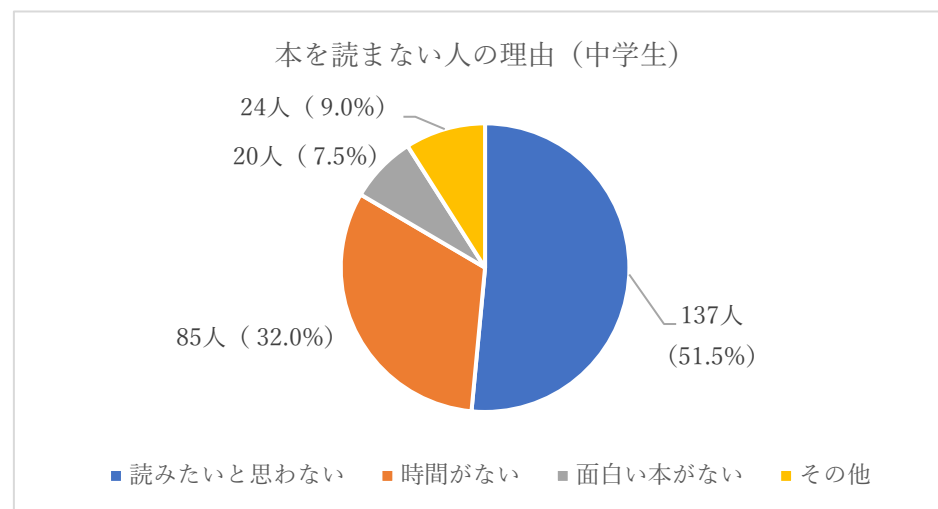
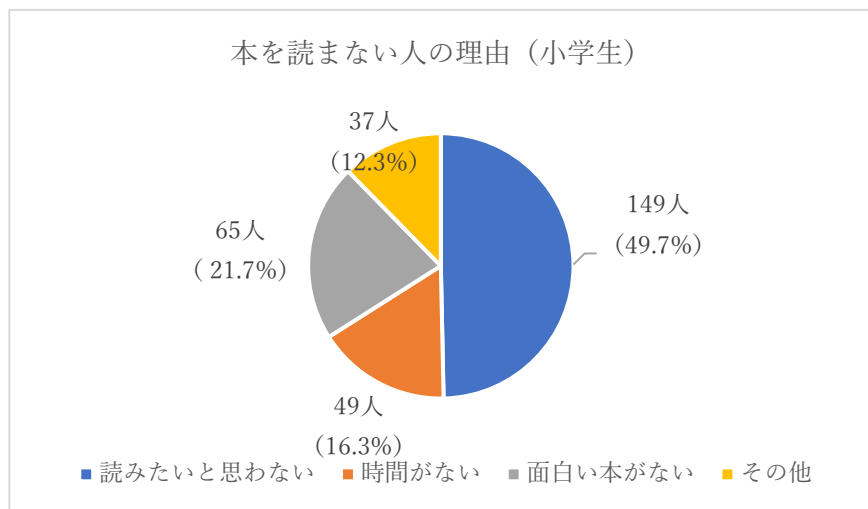
実施時期：令和5年6月30日～7月21日 調査方法：Forms(タブレット配信) 対象：区立小学生・中学生

回答者数：小学生5,478人・中学生1,507人

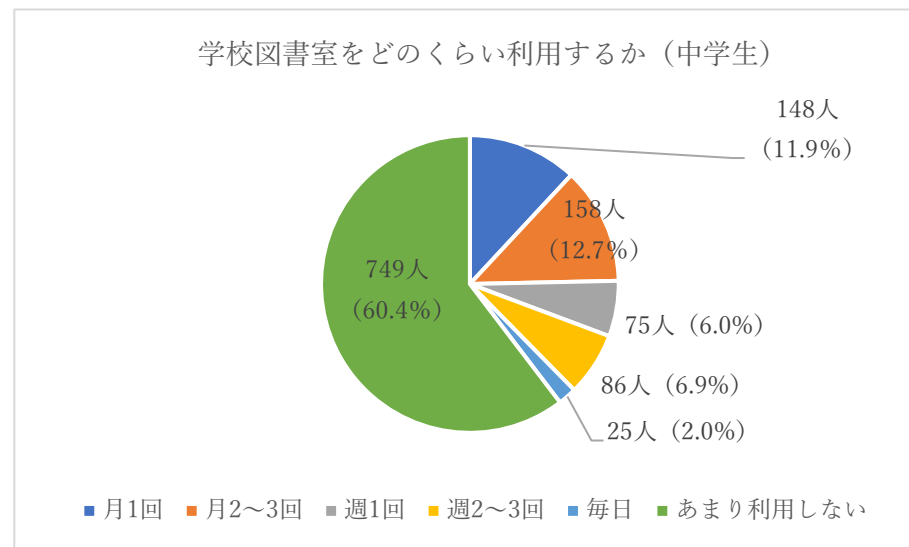
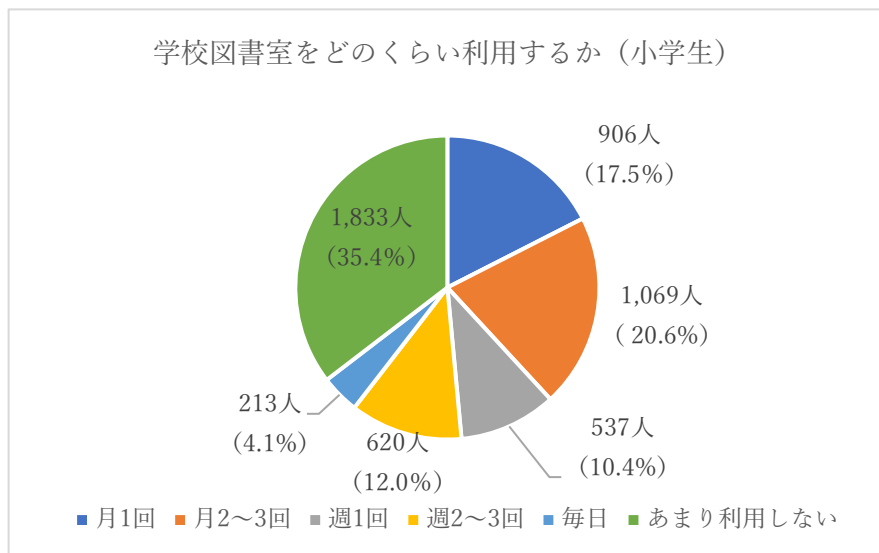
(1) 1か月の読書数



(2) 本を読まない理由



(3) 学校図書室の利用



(4) 電子図書の利用状況

